

業況感は、全体的に回復傾向が見受けられるが、感染拡大の影響により先行きは不透明が強い！

—2020年10月～12月期 中小企業景況調査報告書概要—

日銀が昨年の12月14日に発表した2020年12月の企業短期経済観測調査（短観）によると、企業の景況感を示す業況判断指数（D・I）は、大企業・製造業がマイナス10となり、9月の前回調査より17ポイント上昇した。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて急落した6月調査を底に、景況感が2四半期連続で持ち直した。中国向けをはじめ輸出が好調だったことや国内外の自動車販売が回復したことなどで改善した。大企業・非製造業はマイナス5で、前回調査と比べて7ポイント改善した。非製造業も製造業と同様に2四半期連続で改善した。政府の「Go To トラベル」や「Go To イート」などの効果もあり、今回の調査でさらに改善した。中小企業の業況判断指数は、製造業がマイナス27となり前回調査から17ポイント、非製造業はマイナス12となり前回調査より10ポイントといずれも改善した。水準は大企業に比べて低いが、改善幅でみると製造業は大企業並み、非製造業は中小企業の方が改善幅が大きかった。

3か月後の先行きの見通し（2021年3月予測）は、大企業・製造業が今期より2ポイント改善しマイナス8、非製造業は今期より1ポイント悪化しマイナス6と見込んでおり、製造業と非製造業で明暗が分かれた。中小企業では製造業が今期よりも1ポイント改善しマイナス26と予測、非製造業は8ポイント悪化しマイナス20を予測しており、大企業よりも先行きの見方が慎重になっている。

内閣府が2020年12月22日に発表した12月の月例経済報告においては、国内景気は「新型コロナウイルス感染症の影響により、依

然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。」との総括判断を維持した。2020年7月に引き上げた判断を6ヶ月維持している。一方で新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、内需の柱である個人消費を「一部に足踏みも見られるが、総じて持ち直している」と9月以来3ヶ月ぶりに下方修正しており、4月、5月で底を打ったとみていた景気回復の動きに不透明感が強まっている。

商工会地域の景況調査においては、今期（2020年10月～12月）の業況に関するD・I値は、製造業が、前期のマイナス60.0から18.8ポイント改善しマイナス41.2。建設業は12.0ポイント悪化しマイナス44.0。小売業は22.7ポイント改善してマイナス30.0。サービス業は30.0ポイント改善しマイナス37.5となっている。今期は、建設業のみが悪化し、製造業、小売業、サービス業は改善しており、前期とは様変わりしている。

来期（2021年1月～3月期）の業況予測については、製造業が今期実績より5.7ポイント改善しマイナス35.5。建設業が2.4ポイント改善しマイナス41.6。サービス業も9.9ポイント改善しマイナス27.6を予測しているが、小売業は今期実績より5.9ポイント悪化しマイナス35.9を予測している。前期のときの実績や来期予測と比べると全体的に15ポイントほど回復しているが、新型コロナウイルス感染の第3波の到来、一部都府県への緊急事態宣言の発令等の影響が懸念され、依然として厳しい状況が続くと思われる。

（中小企業診断士 橋本大輔）

業界天気動向図

項目 年 業種	売上				採算（経常利益）				資金繰り			
	2020	2020	2020	2020	2020	2020	2020	2020	2020	2020	2020	2020
	1 月	4 月	7 月	10 月	1 月	4 月	7 月	10 月	1 月	4 月	7 月	10 月
製造業												
建設業												
小売業												
サービス業												

各項目については次により表示した。

区分	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少	大幅に減少
	好転	やや好転		やや悪化	悪化	非常に悪化
D I 値（前年同期比）	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～△20.0	△20.1～△35.0	△35.1～
表示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点

（数値の左は前期構成比、右は当期構成比を記す）

業種	1位		2位		3位		4位			
製造業	1位にあげる問題点 需要の停滞		2位 生産設備の不足・老朽化		3位 その他		4位 原材料の不足、従業員の確保難			
前期	40.0	35.3	14.3	17.6	8.6	11.8	--	5.9		
建設業	1位 従業員の確保難		2位 官公需要の停滞、民間需要の停滞		3位 13.6		4位 9.1			
前期	13.6	22.7	--	--	13.6	--	9.1	9.1		
小売業	1位 需要の停滞		2位 大型店・中型店の進出による競争の激化		3位 購買力の他地域への流出		4位 その他		5位 消費者ニーズの変化、店舗の狭隘・老朽化	
前期	17.9	21.1	12.8	18.4	10.3	13.2	10.3	10.5	--	7.9
サービス業	1位 需要の停滞		2位 その他		3位 利用者ニーズの変化、店舗施設の狭隘・老朽化		4位 15.6		5位 利用料金の低下、上昇難	
前期	42.6	31.1	21.3	17.8	--	--	15.6	--	4.3	6.7